



002_deficiencies_of_Four_deities

鰻絵蔵は、大変美しい土蔵であるとともに、
多くのストーリーが隠されているように思います。

その秘密のひとつについて、語りたいと思います。

2023年秋 春日正利

サフラン酒・鍔絵蔵の最大の魅力は何か？



まずは、「土蔵に多くの鍔絵、
美しい色彩のバランス」
ではないでしょうか。

「わびさび」さえ感じる、
ゴテゴテ趣味の対角に
位置する美しさを、
感じるのですが。

渡辺関靖氏撮影

衣装蔵と鏝絵蔵の装飾の違い

衣装蔵が、鉢巻に葡萄唐草文、一階、二階の窓飾りに四神と、比較的少ない鏝絵の絵柄であるのに対し、鏝絵蔵は、東の鉢巻に大きな青龍、窓飾りに多くの十二支が飾られています。

鉢巻部、そして土蔵入り口側を含め、18枚の鏝絵です。単に、四神だけではなさそうで、ストーリーが隠されていると感じざるを得ません。

もうひとつの美、葡萄唐草文は別途。

私は、「四神に四霊追加が鍵」だと考えます。

古代中国では、東の青龍、西の白虎、南の朱雀、北の玄武と、方角の守護神としての四霊獣とよばれるグループがあります。

また生き物を鱗、毛、羽、甲の四類に分類し、四つのそれぞれを統括する長(王)を応龍・麒麟・鳳凰・靈亀しとして、四霊獣とよばれます。霊獣は、瑞獣(縁起のよい獣)とされ、世の中が瑞気に満ちて、平和な時代のみに出現するとされました。そして、中央には裸虫(裸の動物、人間)の長として聖人が当てられることもあります。

最初の構想

衣装蔵
の四神

東面二階の窓に鯉、一階の窓に小鳥
(将来、大成して青龍、朱雀)
北面二階の窓に幼い白虎、一階の窓に玄武

将来の
事務所蔵
(鰻絵蔵)
の四神

鉢巻を含め、五つの鰻絵の場所
鉢巻には二頭の青龍
東面二階の窓には二羽の朱雀
東面一階の窓には白虎と玄武

これが、はじめの構想だったと思います。しかし、...



ところが、朱雀は
Vermilion Bird であ
り、赤。

火事を想起してしま
います。

青い鳳凰に替えると、…



白壁に映えます。



四神の赤い朱雀の代わりに、四霊の青の鳳凰。ここから「四神に四霊を追加」に変更したのではと思っています。

鏝絵の題材に、
発想の転換
～仁太郎ワールドに
大きな役割

これしかない、東面の「配置」のマジック

北面
の二階
へ

方位の守護神と五大思想の反映

	東	南	西	北
「空」 鬼瓦	青龍	朱雀	白虎	玄武
「風」	応龍	鳳凰	麒麟	靈龜
「火」				

「空」
「風」
「火」
「水」
「地」

四神 四靈獸

四靈 四瑞獸

「空」
「風」
「火」
「水」
「地」

さらに、十二支が勢揃いのマジックも可能になりました。説明は現地で。

「鬼瓦」
は別記

これしかない、東面の「配置」のマジック

方位の守護神と五大思想の反映

	東	南	西	北
四霊獣	青龍	朱雀	白虎	玄武
四瑞獣	応龍	鳳凰	麒麟	靈龜

軒下	四霊獣の青龍 東の守護神 (双龍・昇り龍と降り龍)
二階	四瑞獣の鳳凰 (雌雄一対)
一階	四瑞獣の麒麟、四霊獣の玄武

「空」
「風」
「火」
「水」
「地」

十二支の勢ぞろいマジック、勢ぞろいしてこそ「五穀豊穡」

子・丑・[寅]・卯・[辰]・[巳]
午・未・[申]・酉・戌・亥

寅は、四霊獣の白虎に

辰は、四霊獣の青龍に

巳は、四霊獣の玄武に

四霊獣四瑞獣が
十二支を兼務し、
全てが揃って
五穀豊穡を願う。

申は、四瑞獣の鳳凰、または麒麟しか、
ありえないとおもうのですが、
または、「去る」を消し去る大黒・恵比寿かも。

四神に四霊を追加の効果をとめます。

- ① 赤い朱雀には遠慮願って青い鳳凰
- ② 東面の絵柄の絶妙な配置、方位の守護神と
五大思想に合致する配置
- ③ 北面・南面を主体に十二支が、
東面の守護神の兼務 による勢揃い

～ 地域安寧と五穀豊穡

ヒントの最初は、
北面の白い寅でした。
それが西の守護神、白虎では、
と気づいたのです。

すると麒麟の登場が、意味を成し
てきます。西の守護神、白虎に東面
を避けさせ、麒麟に代役としてお出ましを願ったのです。
北面に子、丑、寅と、干支の出だしを揃える効果もあり、
これが成功したことを伺えます。



十二支は、もともとは穀物の12か月を意味し、寅が「春が来て草木が芽吹く頃のこと」のように、十二支は種が芽吹いて生育、花が咲き実がつき、収穫というサイクルで、毎年の豊作を祈願。十二支は欠けてはいけません。

また訪問する人々に、「自分の干支がない」と悲しませるなんて、商売熱心の創業者が許すはずがないのです。よって、欠けてはいけません。

羊、戌、おかしいのでは？

この羊、ヤギに似ている。

この戌、ネコではないか。

実は、理由があると思っています。

中国のヒツジとヤギ

中国ではヒツジとヤギをもっと近い種類の感覚で捉えているようであり、漢字表記上でもヒツジは「羊」で、ヤギは「山羊」と書いて「山の羊」扱い。羊の一種として捉えているようで、干支のキャラクターにもヤギを用いる。

属は異なるが、ヤギもヒツジもウシ科ヤギ亜科

角 ヤギには少し湾曲した2本のツノがありますが、ヒツジは渦を巻くツノがある。(但し、無いものも多い。)これからサフラン酒のは、「ヤギ」か。

顎髭 ヤギには顎髭があり、ヒツジには無い。(個体差が大きく、あご髭がないヤギもいるとのこと。これからサフラン酒のは「ヤギ」か。

尾 ヤギの尾は短くピンと跳ね上がるのに、ヒツジの尾は長く垂れ下がっていることです。これからサフラン酒のは「ヒツジ」である。



この羊、戌が、長岡市栃堀の
貴渡神社(たかのり)の彫刻に酷似。

吉澤仁太郎、左官の伊吉は、
魚沼・西福寺のみならず、近在の
雲蝶さんの彫刻を見て回ったのでは。



貴渡神社
の羊、戌



サフラン酒
の羊、戌



長岡市栃堀の貴渡神社(たかのり)

植村角左衛門貴渡(かくざえもんたかのり)翁
を顕彰

栃尾織物の基礎を築き、縞紬を広めた、祭神
貴渡翁を奉るために嘉永元年(1848)建てられ
た神社。

社殿は小さいものの、全体が雲蝶の彫刻で
埋め尽くされています。明治2年村有。

